

令和8年7月近江八幡市教育委員会定例会（要旨）

1. 開催日時 令和8年7月30日（木） 9時45分～12時45分

2. 開催場所 会議室 2F・2G

3. 出席委員	教育長	安田 全男
	教育長職務代理者	重森 恵津子
	委員	西田 佳成
	委員	大更 秀尚
欠席委員	委員	圓山 淳子

4. 事務局出席者

教育部長	太田 明文
教育総務課長	澤 千央
教育部次長兼教育施設整備推進課長	村田 崇
学校教育課参事	松本 猛
教育研究所長	楠本 茂樹
教育部次長兼学校給食センター長	奥村 信満
教育部次長兼生涯学習課長	包吉 洋之
近江八幡図書館長	伊藤 亜希子
安土図書館長	泉野 高儀
幼児課長	松下 剛
学校教育課長補佐	河野 厚子
桐原小学校長	熊野 美穂
教育総務課長補佐	田村 俊幸
教育総務課専門員	秋山 直人
教育総務課主任主事	上野 美帆

5. 会議を傍聴した者 0人

6. 会議次第

【議 案】

- 議第 2 2 号 近江八幡市教育委員会表彰被表彰者につき承認を求めることについて（非公開）
- 議第 2 3 号 令和 8 年度教育費に関する 9 月補正予算の要求について（非公開）

【協議事項】

- 馬淵こども園の開園時間の延長について（非公開）

【報告事項】

事業報告

- 令和 8 年 6 月市議会定例会における質問に対する回答等について
- 第 1 8 号八幡西中学校長寿命化改修工事 1 期の変更契約について（契約議決報告）
- 近江八幡市教職員働き方改革推進委員会委員について
- 近江八幡市学校運営検討委員会委員について

【その他】

- 第 3 期教育振興基本計画の策定にかかる意見交換について
 - ◇次期学習指導要領の円滑な実施に向けた、「柔軟な教育課程」の編成について（非公開）
 - ◇桐原小学校一年生プレクラス制～16 日間の足跡～

7. 議事の経過

（1）開会（日程確認）

- ・教育長が 7 月定例会の開会を宣言
- ・出席委員定数の確認
- ・日程について 承認

（2）会議録の承認

6 月定例会及び 7 月臨時会の会議録 承認

(3) 教育長挨拶及び報告

6月市議会において、教育委員会に関わる数々の質問や質疑が行われ、八幡西中学校の第1期工事の契約変更や部活動改革に関する公的地域クラブ活動の実施を前提とした予算について議決いただいた。

2学期から公的地域クラブ活動を開始する。教員の勤務時間内についてはこれまでと同じ部活動で、勤務時間終了後10分の休憩を挟み、公的地域クラブ活動に移行する形となる。各中学校の運動部・文化部全てにおいて、公的地域クラブ活動に移行できるかという点が現在の課題である。公的地域クラブ活動としての活動については、生徒の意思も確認しながら、活動できる環境を整えられるよう引き続き取り組んでいきたい。

また、現在、富士宮市の子どもたちが交流事業で本市を訪れている。本日は、沖島の散策や地引網、江州音頭の体験をする予定である。現時点では熱中症等もなく、元気に活動できているとの報告を受けている。明日が最終日であるが、富士宮市と本市の子どもたちが貴重な体験を重ね、友情を育み、大人になっても交流を続けてもらえることを期待している。

以上、教育長報告とさせていただきます。

(4) 議事

- ◆議第22号 近江八幡市教育委員会表彰被表彰者につき承認を求めることについて（非公開）

【事務局説明】…教育総務課

【採 決】

議第22号 近江八幡市教育委員会表彰被表彰者につき承認を求めることについて（非公開）

承認

- ◆議第23号 令和8年度教育費に関する9月補正予算の要求について（非公開）

【事務局説明】…各所属

【採 決】

議第23号 令和8年度教育費に関する9月補正予算の要求について（非公開）

承認

●協議事項

◎馬淵こども園の開園時間の延長について（非公開）

【事務局説明】…幼児課

●報告事項

◎令和８年６月市議会定例会における質問に対する回答等について

【事務局説明】…各課

代表質問、個人質問、最終日提案に対する質疑等について各課より説明。

【意見等】

特になし

◎第１８号八幡西中学校長寿命化改修工事１期の変更契約について（契約議決報告）

【事務局説明】…教育施設整備推進課

６月市議会の最終日に追加提案を行い、議決いただいた件である。

現在進めている第１期工事において、プール棟の解体撤去でアスベストの除去工事が一部不要になったことに加え、埋設排水管の施工方法の変更が生じたため、当初契約額の２億６２５万円から１億９，５１８万７千円に減額変更する。併せて、既設の受電設備を改造する必要が生じ、機器の納期に相当の日数を要するため、当初の工期である８月７日から１２月２８日までに工期を延長するものである。なお、工事自体はほぼ完了しており、受電設備の改造に必要な機器の納入を待っている状況である。

また、第２期工事については、現在、公告中で８月５日に入札、翌６日に開札を予定している。

【意見等】

○大更委員

他の学校においても、みなし石綿の可能性はあるのか。

○教育施設整備推進課

石綿の調査は過去に済んでいる。しかし、壁の中など外気に触れず飛散しない

部分については、そのまま残っている状況である。今回の場合は、プール解体により外気に触れてしまうため、みなし石綿という想定のもと設計したが実際はなかったということでの減額である。

◎近江八幡市教職員働き方改革推進委員会委員について

【事務局説明】…学校教育課

資料のとおり、令和8年度教職員働き方改革推進委員、小学校作業部会、中学校作業部会の委員について、資料のとおり報告する。

今後の予定については、8月6日に第1回目推進委員会、第2回は2月頃に開催予定である。また、作業部会は、2学期に2回程度の実施を予定している。

【意見等】

特になし

◎近江八幡市学校運営検討委員会委員について

【事務局説明】…学校教育課

令和8年度学校運営検討委員会の委員について、資料のとおり報告する。当委員会では、小・中学校の入学式の日程等の検討を行う。また、新学習指導要領の実施に向けて、小学校40分、中学校45分授業を実施していくにあたり、放課後児童クラブや放課後等デイサービス等との連携についても検討を行う。

今後の予定については、8月28日と9月28日の2回の実施を予定している。

【意見等】

特になし

8. その他

◎第3期教育振興基本計画の策定にかかる意見交換について

◇次期学習指導要領の円滑な実施に向けた、「柔軟な教育課程」の編成について
(非公開)

【事務局説明】…学校教育課

◇桐原小学校一年生プレクラス制～16日間の足跡～

【事務局説明】…桐原小学校

昨年この場で機会をいただき、令和8年4月に小1プレクラス制度に取り組むという報告を行った。本日は、今年度取り組んだ小1プレクラス制度について報告させていただく。

桐原小学校においては、1年生の4月は「丸ごと架け橋期」と設定し、4月登校日の16日間、プレクラス制度に取り組んだ。児童にとっては「安心できる居場所で、多くの仲間と共に学び、成長できる学級」を、教員にとっては「学年全体で児童を見守り、相談し合い、個々の児童に指導・支援がしやすい学級」を目指した。

まず、学級の名称について、本クラス移行後に混乱をきたすことがないように、ほし組・つき組・はな組とした。本クラスは、2年生以上の学年と同様、1組・2組・3組となり、プレクラスと本クラスの区別ができたと感じている。

本校は、20以上の異なる就学前施設から児童が入学する。過去数年、同じ居住地域でも就学前施設が異なるため、入学時まで交流がない児童が多く見られた。そのことも踏まえ、プレクラスでは居住地域を基にクラス編成を行った。登下校は居住地区ごとの班で行うため、登校時は上級生がそのまま同じ教室に案内、下校時も地区ごとの人員確認を同じ教室で行うことができ、移動をスムーズに進めることができた。

学級担任は、3人が日替わりで3クラスを指導した。今年度は、6月から産前休暇を取得する教員に対する先行ティーム・ティーチングのため、臨時講師を1人任用し、4月のプレクラス期間は担任3人と合わせた4人体制で指導・支援を行った。さらに、ひとり学級である通級指導教室の担任を含めた5人で、95人の児童を見る体制をとった。加えて、小1すこやかサポーターや本校専任部教員による支援、6年生児童による朝の準備と清掃活動の支援を受け、1年生の4月の目標を「学校生活に慣れること」に絞って取り組むことができた。

小1プロブレムとは、幼少期の遊び中心の保育から、集団行動や45分間の着席を求められる学習環境への変化にうまく適応できず、学級での活動や学習が円滑に進まない状態を指す。そこでプレクラス期間は、登校後すぐに着席して朝の会を行うのではなく、「にこにこタイム」として自由遊びの時間を設定した。当初は40分間から始め、徐々に時間を短縮し、4月最終週には10分間とした。時間短縮後は、時計の下に算数教材の大きな時計の模型を活用し、児童が時間を確認して片付けられるようにした。

自由遊びの場は校舎の構造を活用し、1・2年生のスペースを区切り、1年生のスペース全体を活用した。プラレールやジェンガ、絵本、折り紙、昔遊び等のコーナーを設け、各教室では貼り絵や自由帳に取り組める環境を整えた。

児童は登校後、自由遊びを十分に満喫した上で、時計を見て片付けを始め、朝の会へ移行した。朝の会についても、自席に着席するのではなく、担任の周りに

集まったり、車座になったりするなどの形で実施した。

例年の自席に着席して始まる朝の会と比較すると、集団活動に入れず立ち歩く児童の数は少なかったと感じている。ただし、全くいなかった訳ではないため、プラス1の4人目の担任の存在は大きかった。

2時間目と3時間目の間の長休みも、にこにこタイムと同様に自由遊びの時間とした。にこにこタイム及び長休みは、2年生以上の児童は1年生スペースには入らないこととした。1年生だけの空間を確保し、1年生同士の交流を促すとともに、教員が児童観察できる環境を整えた。

児童の様子や保護者とのやり取り等は、各クラスの記録帳に記録し、翌日の指導や本クラスの編成に活用した。

各教科の学習について、日替わりで担任が交代するため、プレクラス期間中は、3クラスの時間割がほとんど同じであった。学習・指導内容については、前日に担任団でしっかりと打ち合わせを行った。指導方針をチームとして共有することで、教員にとっても様々な指導方法を学ぶ良い機会となったと感じている。これは、人材育成の面からも有効であったと感じている。

プレクラス制度の成果としては、地域別のプレクラス編成により、登校後、教室への移動に関する不満を軽減できた。また、にこにこタイムを楽しみに登校し、朝の会から学習への切り替えがスムーズにできた。日替わり担任により、より多くの教員と信頼関係を築くことができた。自由遊びの時間を1年生だけの空間としたことで、95人が自由に交流できた。これらは全て、本クラスでの集団づくりに有効であったと感じている。実際に、本クラス編成後の児童の飛び出しや立ち歩きが激減しており、就学前施設からプレクラス、本クラスへとならかな坂にできたと感じている。

一方で、環境の変化に戸惑いを感じる児童にとっては、4月にプレクラス、5月に本クラスという2度の大きな変化に、毎日担任が変わるという小さな変化に負担を感じる姿が見られた。また、プレクラス期間中にも落ち着きのない状態の児童の姿はあったが、クラス担任が丁寧に関わり、スムーズに集団活動に戻ることができた。

毎日の引き継ぎ事項の整理や、クラス編成に関わる膨大な事務作業もあるが、これらも、プラス1の担任がそのほとんどを担ったことにより、プレクラス担任3人の精神的、身体的な疲労を軽減できたと感じている。プレクラス制度継続のためには、人的配置の方策について検討する必要がある。

以上、プレクラス制度の報告とする。

【意見交換】

○大更委員

今年度の担任プラス1の人的配置の存在が非常に大きかったということだが、今後も同様の対応となるのか。

○桐原小学校

先行ティーム・ティーチングとして、7月末までに産前休暇を取得教員がいる場合は、4月1日から臨時教員を任用してもよいとなっている。今年度は、6月から産前休暇を取得する教員がいたため、プラス1の人的配置が可能であった。プラス1の存在をどう設けていくかは今後の課題だと考えている。

○大更委員

5月から本クラスをスタートされたと思うが、チーム担任制を継続することは大変か。

○桐原小学校

当初、本クラス移行後の教科担任制は予定していなかった。しかし、プレクラス期間中に95人を日替わりで毎日見てきた担任団から、本クラスに移行した後、自分のクラス30人のみの担当となることについて寂しいという意見が挙がった。「体育・生活・図工であれば、週当たりの授業時数が同じであるため、教科担任制の形で取り組んでみてもよいか」と提案があり、1学期は、体育・生活・図工の3教科については、担任3名がクラスを入れ替わりながら授業を行っている状況である。

○重森委員

保護者の反応はどうであったか。

○桐原小学校

本クラスを発表した後に、「お友達になった子とクラスが離れてしまって、子どもが泣いている」、「せっかくお友達になったのにまた環境が変わるのはどうなのか」等のご意見を連絡帳で1件、電話で2件いただいた。

今すぐの評価ではなく、1年間様子を見ていただいた上で、今までの従来の形で始めた1年生と今年度プレクラスを経て始めた1年生とで比較評価をしてもらえるとよいと考えている。2学期末の学校評価にはそのような項目を追加して評価していただきたいと考えている。

なお、変化に強くない児童は一定数いる。毎日担任が変わることも、不安の1つだと思うが、その分、3人の担任がいつでも相談できる存在として位置付けてもらえたのは、デメリットのうちのメリットであったと感じている。

○西田委員

プレクラスは16日間実施されたが、1年間のカリキュラムは間に合っているか。

○桐原小学校

プレクラス期間は4時間授業で下校としていた。その日の授業の情報共有や明日の授業の進め方等、放課後の打ち合わせ時間を確保するためである。その打ち合わせをしっかりとすることで、結果として、効率よく授業を進めることができた。また、授業が始まるまでにやっておくべき準備についても、3クラス揃った指導ができた。以前、1年生の担任をした教員からも、進捗に差はないという感想を受けている。

○教育長

1年生から3教科で教科担任制ができたこと、また、教員からやりたいという意見が出たことは、今後、掘り下げて研究していく必要がある。来年に向けて、プラス1の人的配置をどうするか等課題もあるため、引き続き学校としても検証、研究を進めていただきたいと思う。

本日の意見交換は以上とさせていただく。

9. 閉会

教育長が定例会の閉会を宣言